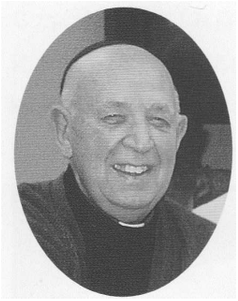
# 南山っ子通信

長崎南山小学校
学校生活だより
令和元年１０月号
担当（山田）
NO.83

## 神様の時間

長崎南山第二学園の創立者であるヒルバート・Ｊ・ウイゼン神父様が亡くなられたのは，平成9年10月8日のことでした。今から22年も前のことです。毎年，10月のロザリオの月がやってき，ウイゼン神父様の命日が近づいてくると，在りし日のウイゼン神父様のお姿，話してくださった教え，楽しかった思い出の数々が懐かしくよみがえってきます。



今回の南山っ子通信では，ウイゼン神父様が教えてくださった「神様の時間」についてお知らせしたいと思います。南山小学校に勤務して初めて子どもたちといっしょに与かったミサのことを私は今でもよく覚えています。当時は毎週水曜日の1時間目に全校ミサが行われていました。

その日は，まもなくミサが始まろうとしている時間なのに，あるクラスが集合しておらず，ミサを始めることができないでいました。新学期が始まったばかりで何か大切な学級指導がなされていたのかもしれません。少し遅れてやってきたクラスの子どもたちと担任の先生に向かって神父様は，ユーモアを交えながら次のように話されました。

> ミサの時間は神様のために使う時間ですね。24時間が7日間ある中で水曜日の1時間目だけは神様のために使う時間です。24時間×7の中のたったの45分間です。わたしたちは，その神様の時間を他のことに使わないように注意しましょう。1分でも2分でもです。神様のために使う時間を時間泥棒しないように，みなさん気をつけてください。

笑顔で時折笑いを誘うかのように楽しくお話をされたのだとその時は思っていましたが，その後，ウイゼン神父様の人となりに接するようになってくるにつれて，実はあの時は真剣に，そしてきびしく教え諭しておられたのだということが次第に分かるようになってきました。ウイゼン神父様は，少し不満に感じていたり，きびしく指導したりするときには，直接そのことには触れないで，わざとはぐらかしたり別のことを持ち出したりして話をされることがありました。

ミサの時は勿論，朝のご聖体訪問，教室での朝の祈りや帰りの祈り，食前・食後の祈り，聖歌を歌う時など，南山小学校の一日の中には神様にだけ向かい，神様のために使う時間が毎日あります。しかし、それらは合わせても十数分間程度だろうと思われます。ウイゼン神父様流にいうと，１日２４時間，１４４０分間の中のほんの１０分間程度ということになります。「神様の時間」をよそ見や手遊びなど他のことをする時間にしないように気をつけながら，今も天国から見守ってくださっているウイゼン神父様を喜ばせることができるように努めていきたいと思います。

## 九州地区教員研修会を終えて

平成２２年，本校を会場校として第３５回九州地区私立小学校教員研修会が行われました。その時の経験と反省を基に，南山小学校では新たな研究主題を立て，学び合いの授業を中心にしながら校内研修を深めてきました。

９年の間には最初に立てた研究主題も更新され，本校が考える「学び合い授業」のあるべき姿も次第に確立されてきました。

今回，９年ぶりに会場校として回ってきた研修会では，「主体的に取り組み，対話的な学びで表現する力を高め合う南山っ子の育成」を研究主題として臨みました。これまでに研究してきた成果を十分に表すことができるように，各教科とも学習指導案を何度も見直し熟考し作り上げて臨んだ研究授業でした。自分たちでは，「これでよし」として公開した授業であり，今後の自信につながる点も多くありましたが，参加された１７０名の先生方からは多方面からの意見やアドバイスもたくさんいただきました。教員研修，授業研究には終わりがありません。まだまだ改良の余地があり，発展途上です。本研修会で得た見直し点や反省点を基にして，さらによい授業ができるように全教職員が力を合わせて校内研修に取り組んでいきたいと考えています。

今回の研修会で参加された先生方が口をそろえて褒めてくださったことがあります。子どもたちが目を輝かせて授業に臨んでいる生き生きとした態度，自分の意見を根拠をもってしっかりと友達に伝えるばかりでなく友達の考えも大切にしようとする姿勢がすばらしい，とにかく子どもたちがすばらしいということでした。先生方のつぶやきや話を聞きながら，南山小学校で取り組んでいる「学び合い授業」が目指している方向性は間違っていないことの確信を得ることができました。これからも，子どもたちといっしょに「学び合い授業」を追究していきたいという思いを新たにしました。

保護者の皆様には，研修会に向けて，また当日もたくさんのご協力をいただきました。心より御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

## ♧♧ 教室紹介 ♧♧

**４年２組　担任　宗　ゆかり 先生**

お手伝いがとても上手な4年2組の子どもたちは，掃除の時も学校行事の準備などの時も自分たちから進んで仕事を見つけて働く働き者の多いクラスです。中学年らしい元気な遊びの中でも，また授業中の学び合いの中でも，「互いのよさを認め合い，一人一人のよさが輝くクラス」の学級目標がそのまま具現化されて見られます。

10月に入ってからは，宗教の小島神父様に演技の指導をしていただきながら全校クリスマス会に向けて聖劇の練習を始めています。音楽の時間には聖歌の練習もがんばっています。イエス様のご誕生をお祝いし，神様の愛を全校児童に，そして見に来てくださる保護者の皆様にも伝えることができるように，みんな張り切っています。

担任の宗先生は，仲間がいるからこそ一緒に成長できることを実感して欲しい，そして，いつもやさしい気持ちで協力し合い，仲間を大切にするクラスであって欲しいと願っています。

**聖　歌「　野ばらのにおう　」**

1．野ばらの匂う　ルルドの岩屋
　ファティマの丘の　にれのはやしに
　現れましし　み母のみ手に
　揺らぎかかれる　ロザリオの珠

2．いばらの山路　なみだの谷に
　歩みもまどう　世のもろ人に
　さしのべ給う　救いのみ手に
　清くかがやく　ロザリオの珠